

「^{りん}広がれ！スズムシの輪」

岩切市民センター×宮城野区中央市民センター

1 事業概要

岩切市民センターを活動拠点とする「すずむしの里づくり実行委員会」は、仙台市の虫「スズムシ」を普及し、自生できる自然環境の大切さを多くの市民に啓発してきました。具体的には、飼育、出前授業、配布交換会、実験放虫、広報活動等の多岐にわたります。令和6年度で30周年となる活動ですが、高齢化が進み、次代の担い手育成が急務となっています。そこで、すずむしの里づくり実行委員を中心とした企画員と一般の方で、スズムシを知り、親しみ、楽しむ中で、参加者同士の輪を広げ、担い手の発掘・育成へとつなぐことを目的に講座を展開しました。



リンリンちゃん
すずむしの里づくり実行委員会
マスコットキャラクター

2 令和6年度の活動



飼育を手伝う中学生ボランティア

企画会議では、実行委員会の活動を理解し、協力することができる地域人材の発掘として、学生ボランティアを募集すること、さらに令和5年度に引き続きスズムシ愛好家同士のつながりをつくることを目指すこととしました。

学生ボランティアに関しては、岩切中学校に働きかけを行ったところ、2名の生徒が快く引き受け、夏休み中のエサやりボランティアとして活動しました。また、横のつながりをつくることに関しては、

11月19日にスズムシカフェを開催し、飼育に詳しい道の駅三本木の駅長、仙台市科学館の指導主事、展示にご協力いただいた近隣保育園の先生方をお迎えし、情報交換をして交流を行いました。

3 成果と課題

スズムシカフェの開催を通して、参加者同士がスズムシとの出会いや飼育上の悩み、スズムシの魅力を語り合う中で、互いにつながりを意識できるようになってきました。また、すずむしの里づくり実行委員会の取組にもご理解いただき、スズムシの輪を広げることができました。これからもスズムシの輪を広げていくには、活動に参加する枠組みづくり、楽しんで講座に参加してもらうきっかけづくりが大切です。令和6年度の活動を企画員とともに振り返り、令和7年度以降につなげていきます。



スズムシカフェの様子

4 今後の展望



陸前原ノ町駅に展示しているスズムシ

メンバーの高齢化が進むすずむしの里づくり実行委員会が、これからも持続可能な組織として維持され、今後も仙台市の虫「スズムシ」の普及活動に継続して取り組むことができるような仕組みを考えていく必要があります。令和6年度の活動を通してできた「つながり」を強化していくための楽しい取組や、より多くの市民に実行委員会の活動をPRし、スズムシの輪を広げていく取組を、企画員とともに実践していきたいと考えます。